

1 川崎市における高齢者の現状（平成26年10月1日現在）

(1) 高齢化率等

- 総人口：1,444,250人・・・A
- 65歳以上人口：269,609人・・・B
- 高齢化率：18.7% (B÷A) (参考) 全国：26.0%

(2) 要介護認定者数等

- 要介護認定者数：34,336人・・・C
- 内訳) 要介護1：10,082人(29.4%)
- 要介護2：7,927人(23.1%)
- 要介護3：5,782人(16.8%)
- 要介護4：5,642人(16.4%)
- 要介護5：4,903人(14.3%)
- 高齢者人口に占める要介護認定者数の割合：12.7% (C÷B)

3 「地域包括ケアシステム」の構築について

いわゆる団塊の世代が75歳に到達する2025年(平成37年)等、超高齢社会を見据え、「誰もが住み慣れた地域や本人が望む場で安心して暮らし続けられるよう」、また、特別養護老人ホームは「重度者向けの住まい」として機能を発揮するよう、地域の実情に応じた適切な「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取組を推進するため、今年度内に「(仮称)川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」を策定します。

4 今後の特別養護老人ホームの整備等について

高齢者実態調査の結果からは、

半数以上の高齢者が、「介護が必要になった場合でも、自宅で暮らしたい」と希望しています。

一方で、自宅外を希望する高齢者の多くは、「家族に迷惑をかけたくない」、「家族の負担が大きい(要介護認定者)」を理由にあげています。

これらの回答から、高齢者の多くが、

「介護が必要になった場合でも、家族に負担をかけずに自宅で暮らしたい」と希望されていることが把握できます。

取組

《在宅生活を支援する地域に密着した介護サービスの拡充》

- ・「小規模多機能型居宅介護」
⇒ 要介護者の状態に応じ「通い」、「訪問」、「泊まり」を組み合わせたサービス
- ・「複合型サービス」
⇒ 上記「小規模多機能型居宅介護」に「訪問看護」を組み合わせたサービス
- ・「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」
⇒ 24時間体制で、定期及び随時の訪問介護、看護を組み合わせたサービス

《新たな総合計画の策定に向けて》

本市では、高齢者が元気なうちから介護予防に取り組むことによる健康寿命の延伸や、要介護度の維持・改善に対する適切な評価の仕組みにより、高齢者の幸福につながるよう「新たな総合計画」を策定する中で、地域密着型サービスの拡充や特別養護老人ホームの整備を含め、検討していきます。

2 特別養護老人ホームの整備状況（開所ベース）

本市では「かわさきいきいき長寿プラン」に基づき、「高齢者の多様な住まい方の構築」を目標とし、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていけるよう、介護サービス基盤の整備を進めています。(現在、「第6期計画・かわさきいきいき長寿プラン」を策定中)

施設サービスにおいて中核的な施設である特別養護老人ホームは、入居を希望されている方が多い状況にあることから、平成20年11月に策定した「特別養護老人ホーム整備促進プラン」と併せ、本年3月末までの6年間で、概ね1,560床の整備促進を行いました。

施設種類	第4期計画								第5期計画							
	20年度末現在		21年度開所数		22年度開所数		23年度開所数		24年度整備数		25年度整備数		26年度整備数(見込)		26年度末現在(見込)	
	箇所数	定員	整備数	定員	整備数	定員	整備数	定員	整備数	定員	整備数	定員	箇所数	定員	箇所数	定員
特別養護老人ホーム	33	2,578	0	8	4	378	3	238	0	0	6	613	6	497	52	4,312
うち、大規模特養	30	2,501	0	8	3	350	1	156	0	0	5	584	4	439	43	4,038
うち、小規模特養	3	77	0	0	1	28	2	82	0	0	1	29	2	58	9	274

※「大規模特養」：定員30人以上の特別養護老人ホーム 「小規模特養」：定員30人未満の特別養護老人ホーム

また、上記以外に、川崎区境町地区120床(28年度開所)、川崎区日進町地区120床程度(30年度以降開所)の整備を予定しています。(30年度時点の区別整備状況見込は以下のとおり)

	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	全市
要介護者数(A)	7,270	4,729	4,388	4,742	4,671	4,350	4,186	34,336
施設数	8	7	7	4	9	10	9	54
定員合計(B)	669	769	515	318	590	828	863	4,552
割合(B)÷(A)	9.2%	16.3%	11.7%	6.7%	12.6%	19.0%	20.6%	13.3%

【整備用地についての考え方】

県有地の活用については、民有地と同様に取得又は借受に相当額の経費が必要となること、介護保険法に基づく施設基準を満たすために新たな整備が必要となること、また、特別養護老人ホームの整備用地の確保にあたっては、社会福祉法人が民有地を取得し整備する相談を複数受けている状況にあることから、今後も引き続き、各区の地域バランスを考慮しながら、民有地を活用した整備を基本に進めていきます。なお、現在、民有地を活用した特別養護老人ホーム(総床数280床程度)の応募を受け付けています。

資料 2

平成26年度 中学校区別 いこいの家等整備状況

人口は平成26年3月31日現在
※率の単位は、パーセントです。

川崎区	10中学校区	大師	南大師	川中島	桜本	臨港	田島	京町	渡田	富士見	川崎
	全人口	23,672	19,434	26,188	11,598	19,520	16,756	13,568	31,131	32,980	27,260
	60歳以上人口・率	5,199 21.96	5,672 29.18	7,952 30.36	3,704 31.93	4,854 24.86	5,364 32.01	4,459 32.86	10,149 32.6	7,795 23.63	7,116 26.1
	いこいの家 老人福祉センター	殿町	大師	藤崎	桜本	田島・浜町	小田	京町	渡田	大島	かわさき

幸区	5中学校区	南河原	御幸	塚越	日吉	南加瀬
	全人口	28,705	31,725	33,200	17,674	33,361
	60歳以上人口・率	7,117 24.79	9,701 30.57	8,383 25.25	3,805 21.52	8,715 26.12
	いこいの家 老人福祉センター	南河原	御幸	下平間	日吉	小倉

中原区	8中学校区	玉川	住吉	井田	今井	中原	宮内	西中原	平間
	全人口	26,621	25,935	27,520	25,552	36,319	27,473	57,625	23,719
	60歳以上人口・率	5,742 21.56	5,615 21.65	5,675 20.62	4,283 16.76	7,062 19.44	5,564 20.25	10,122 17.56	7,676 32.36
	いこいの家 老人福祉センター	中丸子	西加瀬	井田		丸子多摩川	等々力・ごうじ	新城	古市場(幸区)

高津区	5中学校区	東橋	橋	高津	東高津	西高津
	全人口	36,662	43,365	34,040	23,821	44,658
	60歳以上人口・率	9,737 26.55	9,401 21.67	6,938 20.38	4,691 19.69	8,601 19.25
	いこいの家 老人福祉センター	子母口	末長	高津	東高津	くじ

宮前区	8中学校区	宮崎	野川	有馬	宮前平	菅生	犬蔵	平	向丘
	全人口	46,428	35,101	38,374	52,421	21,656	25,082	14,322	29,277
	60歳以上人口・率	9,370 20.18	9,521 27.12	8,843 23.04	9,763 18.62	5,529 25.53	6,441 25.67	4,136 28.87	8,139 27.79
	いこいの家 老人福祉センター	梶ヶ谷(高津区)	野川	有馬	宮前	鷲ヶ峰	白幡台	平	上作延(高津区)

多摩区	7中学校区	稲田	柘形	中野島	菅	生田	南生田	南菅
	全人口	47,715	26,373	33,576	21,588	31,896	23,565	13,189
	60歳以上人口・率	11,009 23.07	5,179 19.63	7,834 23.33	4,295 19.89	7,682 24.08	6,517 27.65	3,974 30.13
	いこいの家 老人福祉センター	長尾	登戸	中野島	菅	柘形	錦ヶ丘	南菅

麻生区	8中学校区	西生田	長沢	柿生	白鳥	金程	麻生	はるひ野	王禅寺中央
	全人口	27,406	24,764	24,878	28,705	18,141	21,916	10,370	19,688
	60歳以上人口・率	7,389 26.96	7,303 29.49	7,134 28.67	6,275 21.86	4,924 27.14	4,333 19.77	1,255 12.1	8,370 42.51
	いこいの家 老人福祉センター	百合丘		岡上	片平	千代ヶ丘	麻生		白山・王禅寺

◎中学校区は、平成26年4月現在

全市	中学校区	51中学校区
	人口	1,436,513
	60歳以上人口・率	346,307 24.1

◎校別整備数

区名	校区	整備数			
		前年度末	今年度	今年度末	未設置
川崎	10	10	0	10	0
幸	5	5	0	5	0
中原	8	7	0	7	1
高津	5	5	0	5	0
宮前	8	8	0	8	0
多摩	7	7	0	7	0
麻生	8	6	0	6	2
全市	51	48	0	48	3

※整備数には、老センで代替している数も含む

◎区別整備数

区名	整備数		
	前年度末	今年度	今年度末
川崎	10	0	10
幸	6	0	6
中原	7	0	7
高津	7	0	7
宮前	5	0	5
多摩	7	0	7
麻生	7	0	7
全市	49	0	49

■ : 整備済み

■ : 老センで代替or整備中

□ : 未整備

区をまたがる中学校区について
 平間中学校(幸・中原)→中原
 向丘中学校(高津・宮前)→宮前
 宮崎中学校(高津・宮前)→宮前
 野川中学校(高津・宮前)→宮前
 平中学校(宮前・多摩)→宮前
 長沢中学校(多摩・麻生)→麻生

小田周辺地域における防災拠点の状況について

1 避難所の指定状況について

- 地域の避難所には、市立の小学校、中学校、高等学校等、既存の市有施設を中心に避難所としての指定を行い、平常時から、市危機管理室・区役所危機管理担当と施設管理者（学校長等）との連携を図っています。
- 跡地利用に関する町内会・自治会への避難所の指定状況は次のとおりとなっています。

町内会・自治会名	避難所（学校名）
小田 1 丁目町内会	⇒ 田島中学校
小田中央町内会	⇒ 田島中学校
小田 3 丁目町内会	⇒ 田島中学校、東小田小学校
セソール川崎京町ハイライズ自治会	⇒ 田島中学校
渡田山王町町内会	⇒ 京町小学校

- 小田 1 丁目町内会をはじめとするそれぞれの地域には、田島中学校、東小田小学校及び京町小学校を避難所として指定し、自主防災組織や町内会・自治会を中心とした防災活動に取り組んでいただいています。

2 災害用備蓄倉庫の整備について

- 東日本大震災を踏まえ、発災直後から必要な物資については、あらかじめ各避難所に備蓄することとし、全ての避難所への備蓄倉庫の整備を進めています。
- 京町小学校は平成 26 年度、東小田小学校は平成 27 年度での設置を計画しており、田島中学校には設置済みとなっています。
- この他、川崎区道路公園センター及び大師公園内には、各避難所への物資の補充や救援物資などの一時保管場所として、集中備蓄倉庫を設置しています。

(参考) 避難所の対象地域



避難所（学校名）	対象町丁
田島中学校	京町 2 丁目の一部、小田 1 丁目、小田 2 丁目、小田 4 丁目の一部
東小田小学校	小田 3 丁目、小田 5 丁目の一部
京町小学校	京町 1 丁目、京町 2 丁目の一部、池田 1 丁目、池田 2 丁目、渡田山王町

- ※ 川崎区内には、33箇所を避難所として指定しています。
- ※ また、津波避難施設として、小・中学校等の公共施設53箇所、民間施設33箇所を指定しています。

定期借地権を利用した貸付けの実施について

神奈川県財産管理課作成

現下の厳しい財政状況を踏まえ、県が利用しない跡地の利活用は、収入確保の観点から、今後も、引き続き一義的には有償譲渡による処分を原則とするが、公的・公共的な利活用を求める社会的要請を背景として、新たに市町村支援の観点から定期借地権を利用した貸付けを実施することができるものとする。

基本的な取扱いは、以下のとおりとする。（詳細は、今後検討する。）

- 1 有償譲渡による財源確保の必要性との均衡を考慮して、一定の範囲内で適用することとし、具体的には次のとおり。
 - ア 対象（貸付け先の用途）は、保育所用地と特別養護老人ホームなどの介護保険施設用地とする。
 - イ 原則として24～26年度内で1市町村1件とする。
 - ウ 面積は、施設の建設及び運営に必要な標準面積とする。ただし、残地の利活用に支障が生じる場合は、この限りでない。
- 2 貸付先は、市町村とする。ただし、市町村が社会福祉法人等に転貸することは認める。
- 3 貸付料は、不動産鑑定評価額に基づき決定する。
- 4 貸付料の減額は、行わない。
- 5 建物譲渡特約付き借地権は、設定しない。

神奈川県警小田独身寮について

1 概 要

小田独身寮（91戸）

①所在地 川崎市川崎区小田1丁目15番3号

②土地面積 3,887.59 m²

③建 物 (独身寮)

鉄筋コンクリート4階建て 延べ床面積 2,580.92 m² 昭和44年築
(厚生棟)

鉄筋コンクリート平屋建て 延べ床面積 324.35 m² 昭和44年築
(渡り廊下)

鉄骨造平屋建て 延べ床面積 12.02 m² 昭和44年築

④用途地域 第二種住居地域 建ぺい率：60% 容積率：200%

⑤高度地区 第3種高度地区（建築物の高さの最高限度20m）

⑥所有者 神奈川県（警察本部施設課所管）

2 これまでの経過

昭和44年 3月 小田独身寮竣工

平成25年 11月 神奈川県から川崎市へ小田独身寮ほか県警宿舎の取得意向
照会

平成26年 1月 川崎市から神奈川県へ小田独身寮について取得希望なしの
旨回答

平成26年 3月 小田独身寮廃止

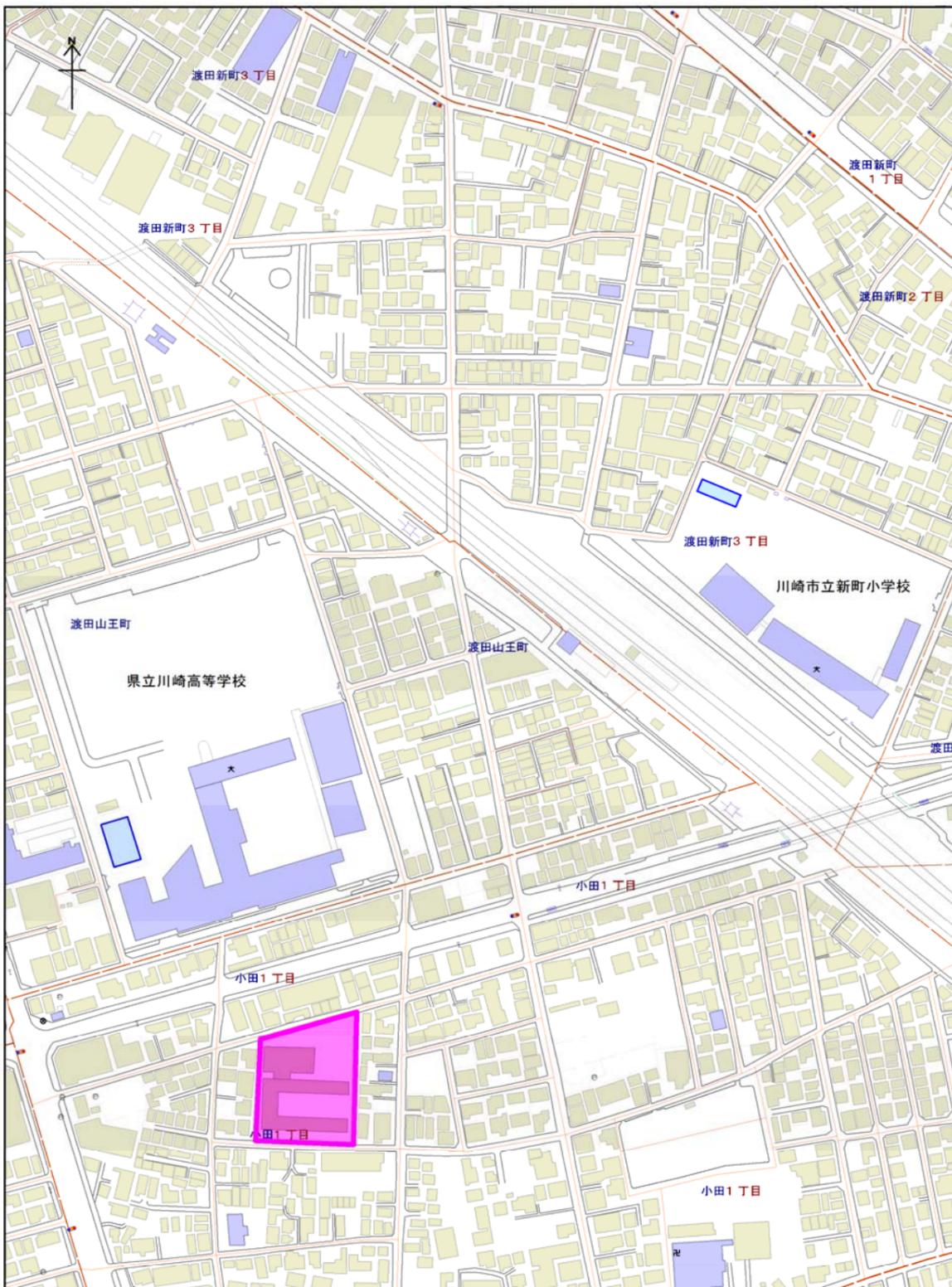
平成26年 7月 市議会議長あての請願第89号を受理

平成26年 10月 健康福祉委員会現地視察

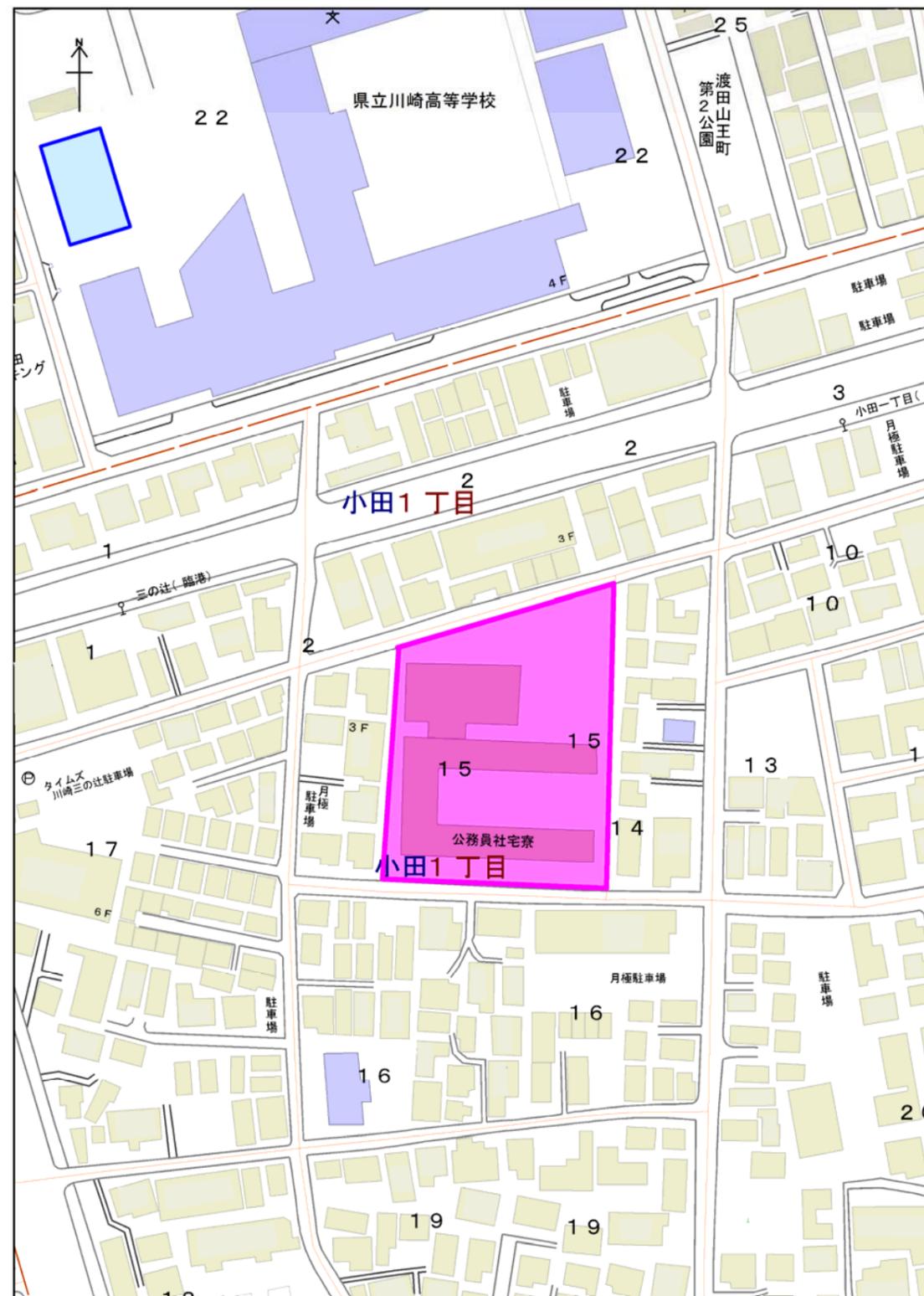
神奈川県警小田独身寮

参考資料 2

1 位置図



2 配置図



川崎区内の特別養護老人ホームの整備状況について

川崎区内特別養護老人ホーム一覧

No.	施設名	所在地	定員
1	恒春園	小川町 10-10	60 人
2	桜寿園	桜本 2-39-4	74 人
3	大師の里	日ノ出 2-7-1	50 人
4	しおん	本町 1-1-1	25 人
5	ビオラ川崎	小田栄 2-1-7	120 人
6	ゆとりあ	殿町 1-11-10	100 人
7	境町地区 (平成 28 年度開所予定)	境町 11-10	120 人程度
8	日進町地区 (平成 30 年度以降開所予定)	日進町 5-1	120 人程度

